

八幡の家で ポニーと過ごした少女時代



写真は、生まれ育った八幡の自宅で大好きだったコリー犬のポニーと一緒に撮ったものです。奥に見えるのはいちご畑。わが家は総武線の線路近くでしたが、まだ周囲にはのどかな雰囲気があったと思います。

幼い頃の私は、当時の女の子としてはかなりやんちゃで、ずいぶん家族をハラハラさせたようです。3歳のときに一人で大人のサンダルを突っかけて、危ないとも知らず総武線の踏切に入っ
て電車を止めてしまったり、バレエ教室の帰りにオートバイにひかれて、背中にタイヤの跡をつけたままケロッとした顔で帰ってきたり…。よく母に叱られては「外で反省しなさい！」と庭に出されたものです。でも、時には謝りたくないと思地をはって、翌朝までポニーの小屋で過ごしてそのまま小学校へ行き、「優子ちゃん、犬の毛いっぱいいつてるよ」「うん、昨日ポニーの小屋で寝たからね」なんて、平気で言っていました（笑）。

そんな子ども時代でしたが、地元には親戚や知り合いの方もたくさんいて、幼い私は人の輪の中でちゃんと守られて育ったように思います。近所の人の目が、しっかり子どもたちを見ている時代でした。

今では総武線が高架になり、付近の風景も変わりました。それでも堀から黒松が覗くお屋敷が点在するなど、独特の風情は残っています。うちの母もそうですが、市川の人は自分のまちにとっても愛着と誇りを持っている。そうした市川の良さをいつまでも残して欲しいと願っています。



テレビキャスター、フリージャーナリスト
安藤優子さん

1958（昭和33）年生まれ。市川市出身。八幡に生まれ、三人きょうだいの末っ子として育つ。高校在学中に交換留学生として渡米。帰国後、上智大学へ入学。在学中にテレビ関係者にスカウトされる。ニュース番組でレポーター、キャスターを務め、民放連賞、ギャラクシー賞個人奨励賞を受賞。著書に『あの娘は英語がしゃべれない!』『以上、現場からでした』など。現在、フジテレビ系「FNNスーパーニュース」に出演中。